



東小だより

やさしく かしく たくましい 東っ子

第24号

桐生市立東小学校

令和5年3月24日

(文責 鈴木 智行)

令和4年度 修了式 ～1年分の成長を振り返って～

3月に入り暖かな日が続いたため、校庭の桜が少しずつ開花し始めています。また、1年生が花壇に植えたチューリップも次々と花を咲かせており、皆の一年間の成長と進級を祝っているかのようです。



今年度の授業日数は203日ありました。子どもの成長は、1日・1週間単位ではよく見取することはできませんが、これが半年、1年という長い期間で見た場合には著しいものがあります。個人の成長もそうですが、学級等の集団としての成長も、目を見張るものがあります。例えば、入学当初の1年生は給食や当番活動もうまくできませんでしたが、今では自分の役割をしっかりと果たそうと、責任をもって取り組んでいます。また、高学年の児童は周囲への気づかいや下級生への思いやりある言動、また、善悪を判断して正しい行いをしようといった成長が見られます。



短い春休みが終わると、子どもたちはそれぞれ1学年ずつ進級します。本日お渡しした通知表をお子さんと一緒にご覧いただき、1年間の成長を話し合ってくださいとともに、新たな気持ち、新たな目標をもって新学期が迎えられるようご支援・ご協力をお願いします。また、今年度の本校の教育活動について、保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

未来へ大きく羽ばたく30人の卒業生 (3/23)

昨日、桜の花が咲き始めた東小学校において、第76回卒業式が挙行されました。市教育委員会をはじめ、第6区、7区の区長さん、地元市議の皆さん、PTA会長さんにご臨席いただき、厳粛な雰囲気の中、6年生はしっかりとした態度で卒業証書を受け取りました。式には、昨年度と同様に5年生が在校生代表として式に参列し、6年生の門出に際し、感謝とお祝いの気持ちを「送る言葉」に込めて伝えました。また、卒業生は6年間の思い出やこれまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを「門出のことば」と合唱を交えて伝えました。

卒業式は学習活動の一つであり、また、学校行事の中でも、もっとも大切にしたい儀式的行事です。卒業生、在校生、教職員、保護者及び来賓の方々により厳かな雰囲気が生まれ、6年生は式を節目としてこれまでの成長を振り返るとともに、意欲や希望をもって4月からの新しい生活に臨む心構えができました。また、5年生は6年生からバトンを引き継ぎ、「4月からは私たちが最上級生」という自覚を高めることができました。

